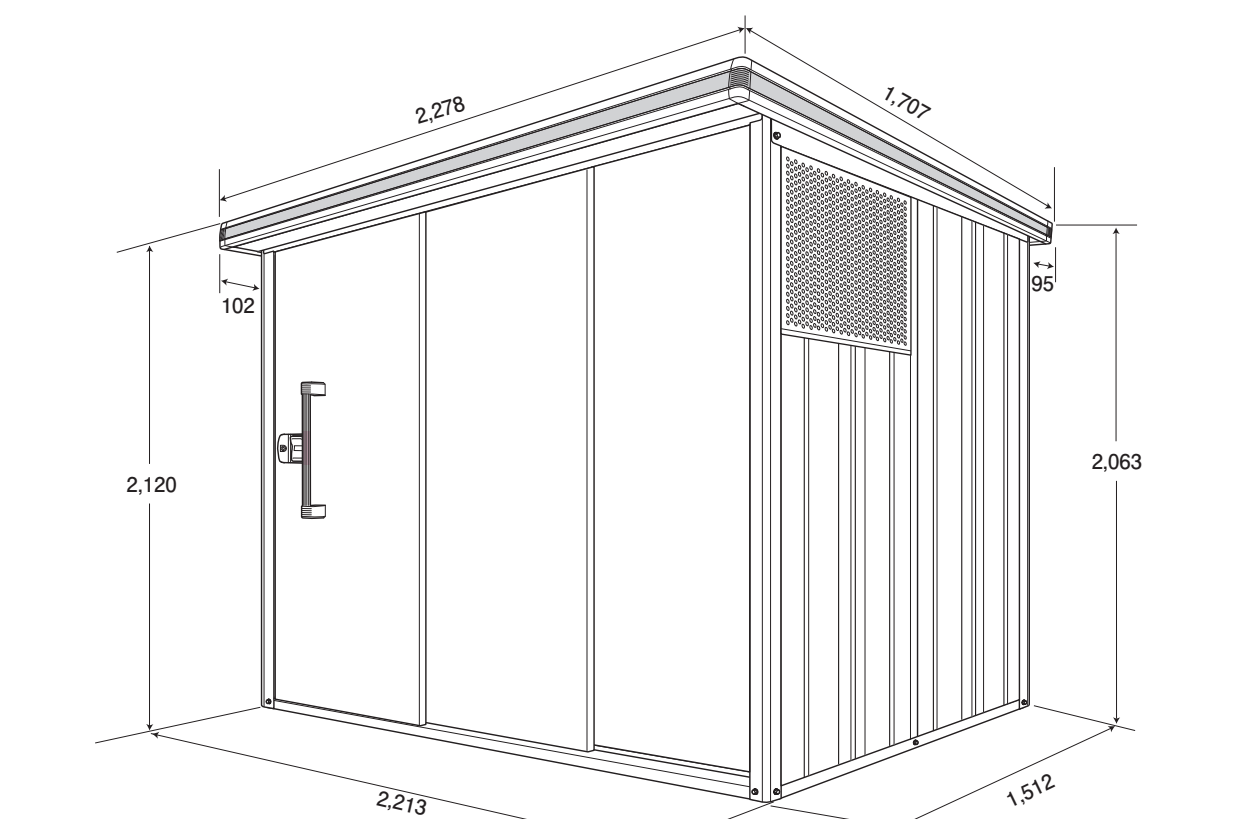


ヨド物置 エルモ ダストピットタイプ

組立説明書 LMD-2215DP型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



- 設置場所の制限
- △注意
- 建物の屋上には設置しないでください。
 - バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 給湯器の前には設置しないでください。

- 組立施工の際には
- △注意
- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
 - 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
 - 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
 - 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表	
機 種	2215DP型
部 品	LM5-5142
枠	上枠前後 LM5-0205
	下枠前後 LM5-5254
	上枠左右 LM5-0303
	下枠左右 LM5-0353
	柱 LM5-0411
間柱	間柱 LM5-1468
	鼻隠し LM5-1105
	一般型 LM5-0536
補強	一般型 LM5-3535
	積雪型 LM5-3535

●梱包内容表	
●部品 LM 5-5142	●下枠左右 LM 5-0353
部材名 数量	部材名 数量
ELD 間柱固定金具 2	ELD 下枠側 A2.0 (左) 1
ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15 5 (1)	ELD 下枠側 A2.0 (右) 1
ELD 柱補強金具 (AS) 1	
ELD 下レールキャップ 1	●柱 LM 5-0411
T型レンチ 1	部材名 数量
プラグボルト PB-#500 4	ELD 柱前 AS-右 L 1
壁パネル止結金具 5 (1)	ELD 柱前 AS-左 L 1
ELD 内アンカー金具 (A) 4	ELD 柱後 L 2
ELD 内アンカー金具 (L) 4	ELD 戸当り (M) L 1
ELD 角孔フサギシール 165 (5)	●補強 LM 5-0536
ELD 屋根隙間隠し A 2	部材名 数量
ELD 屋根隙間隠し B 1	ELD もや A-A3.0 DLN 1
組立説明書 1	LM 5-3535
取扱説明書 1	部材名 数量
保証書 5年 1	ELD もや C-A3.0S DLS 1
補修スプレー (小) 1	●屋根 LM 5-0924
EL 鍵リフサギ 1	部材名 数量
	ELD 屋根 (70) A2.0 3
	●壁 LM 5-1001
	部材名 数量
	ELD 壁パネル L-A 1
	LM 5-1004
	部材名 数量
	ELD 壁パネル L-A 4
	●上枠前後 LM 5-0205
	部材名 数量
	ELD 上枠前 AS-A3.0 1
	ELD 上枠後 A3.0 1
	●下枠前後 LM 5-5254
	部材名 数量
	ELD 下枠前 AS-A3.0 1
	ELD 下枠後 A3.0 1
	●上枠左右 LM 5-0303
	部材名 数量
	ELD 上枠左 A2.0 1
	ELD 上枠右 A2.0 1

○部材名称にはA2.0、A3.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

- 施工にあたって
- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
 - 2.本体を組み立てる前に必ず土間工事をしておいてください。
 - 3.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
 - 4.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
 - 5.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
 - 6.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

- 組立てに必要なもの (事前にご準備ください。)
- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・+ドライバー (右側開口にする場合のみ必要)
 - ・サンダー等切断工具 ・振動ドリル (ドリル径18φ)



土間基礎寸法 (参考)

排水溝あと施工アンカー位置

○土間基礎は図示の寸法以上としてください。(数字はmm)

○排水溝、水勾配は、現地の状況に応じ施工してください。

○下枠と土間にすき間がある場合は、コーキング (別途) もしくは、モルタルを充ててください。

△注意 基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・鍵が掛からない。

△注意 オプションで床板を取付ける場合は基礎は「オプション床」の組立説明書をご参照ください。

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情 (基準風速・凍上による不陸など) にあわせて設計・施工してください。

1 前工程 (その1) ※床なしの土間仕上げのみ

① (内アンカー金具 (L)) を4本とも図の位置で切断します。

② 切断した面を補修スプレーで塗装します。

△注意 床 (オプション) を取付ける場合は切断せずにそのまま下枠側に取付けてコンクリートで埋めてください。 -工程4

△注意 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

2 前工程 (その2)

① (下枠側 (左))・(下枠側 (右)) の両端のスリット部分を内側に折り曲げます。

△注意 木口でケガをする恐れがありますのでベンチ等工具を使って折り曲げてください。

3 下枠の組立

① (下枠前AS)・(下枠後) を土間の上に設置します。

② (下枠側) を (下枠前AS)・(下枠後) の上から設置して4隅をボルト止めします。① ②

③ 下枠前AS・下枠後のボルト孔を塞ぎます。(8か所)

※部材名ラベルが貼ってある方が前です。

ボルト穴を塞ぎます。(8か所)

拡大図は全体図のカメラ ① ② の視点から見た図になっています。

4 内アンカー金具の取付け

① (内アンカー金具 (A)) を下枠側の前工程で加工した穴から差し込んで下枠側の中に入れ込みます。(4か所)

② 前工程で加工した (内アンカー金具 (L)) をボルト止めします。

③ 内アンカー金具 (A) を差し込んだ穴を付属の (角孔フサギシール) を貼り付けて塞ぎます。

④ コンクリートドリルで18φの穴 (深さ55mm) を開け (プラグボルト) を挿入し内アンカー金具 (L) を固定します。(4か所)

△注意 床 (オプション) を取付ける場合は内アンカー金具 (L) の一番上の孔で固定してください。(「オプション床」組立説明書参照)

5 柱の取付け

① (柱前AS)・(柱後) を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。

△注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

ワンポイント 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

6 上枠前後の取付け

① (上枠前AS) を柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。

② (上枠後) のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。

ワンポイント 上枠前は図のように柱前の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。

7 上枠左右の取付け

① (上枠左)・(上枠右) を柱に取付けます。① ②

ワンポイント ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。

ワンポイント ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。

8 間柱側・後の取付け

① (間柱後) の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。

② (間柱側) も同様にして取付けます。

ワンポイント 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

△注意 切欠きのある方が下 ※下部側面に部材名の印字があります。

9 屋根の取付け

① (屋根) を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。

※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。印字「前屋根」

△注意 屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。

ワンポイント 庫内から屋根を載せてください。

10 もやの取付け

① (もや) を正面から間柱側に載せてボルト止めします。①

② (もや) と屋根をボルト止めします。

ワンポイント 屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。 ※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

11 間柱前の取付け

工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書11・12・15・17・18を読んでください。

注意 ① 間柱固定金具 を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** ② 間柱前 の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

12 戸当たりの取付け

① 戸当たり(M) を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないよう前後調整して固定してください。-工程18参照

●右開口の場合

13 壁パネル・袖壁の取付け

①室内から(壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に
入れて上をはめ込みます。)*側面前側には(窓下パネル)をはめ込みます。
②柱・間柱にボルト止めします。**1**(開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程15参照)

注意 ボルト固定しないて倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

14 パンチングパネルの取付け

①(パンチングパネル)を窓下パネルの上に室内からはめ込みます。
②(壁パネル止結金具)をパンチングパネルの下の方角に差し込みます。
③パンチングパネルの4隅をボルト止めします。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

15 柱補強金具の取付け

① 柱補強金具AS を柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)にボルト止めします。**1**
② 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。

●右開口の場合

16 鼻隠しの取付け

① 鼻隠し前・鼻隠し後 を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
② 鼻隠し後 と屋根をボルト止めします。**1**

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

17 扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

注意 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。
左開口の場合はこの工程は必要ありません。

①扉後から(戸車プレート(右))を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
②扉後の(扉後隙間隠し)・(扉支持金具)を取り外して扉後の反対側に取付けます。
③扉前の最初に付いていた(戸車プレート(左))を取り外して扉後に取付けます。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

18 扉の吊り込み(1)

① 扉支持材AS を(扉前)に取り付けます。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

18 扉の吊り込み(2)

扉の吊り込み手順

①扉後の戸車プレート を角孔に差し込む。に
②アルミレールに載せ
ず下に落とす。
③下部を奥に押し当
てる。
④扉後を持ち上げ戸
車プレートをアルミ
レールに載せる。
⑤扉前も同様に吊り
込む。
⑥扉前も同様に吊り
込む。
⑦扉前も同様に吊り
込む。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

19 戸車上昇防止プレートの取付け

① 戸車上昇防止プレートAS を上枠前ASに取り付けます。(3か所)**1**

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

20 取手の取付け

①(取手)を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
②扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

21 連動車の取付け

①扉後の連動車取付け下側の固定孔にボルトを仮止めします。
(ネジ部を5mm程度残してください)
②(連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。**1**
③(連動車)をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)
④扉後下部のボルト孔を塞ぎます。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

22 扉の建付け調整

①扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。
隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、
戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

23 その他部品の取付け

①扉裏面の注意・警告ラベルに、機種名を記入します。
②(屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と
上枠右の重ね部に取付けます。**1**
③(下レールキャップ)を下枠前に取付けます。**2**
④(鍵孔フサギ)を袖壁側の柱前に取付けます。**3**

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

◆錠操作方法について

●施錠する方法

●仮ロックする方法

●庫内からの解錠方法

●右開口の場合

●右開口の場合

●右開口の場合

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

チェック欄

○こんな時は

・扉が外れてしまった。
・扉がスムーズに連動しない。
・取手が外れる。
・扉が最後まで閉まらない。

戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程18・19・21)
1. 本体の建ちを確認してください。
2. 連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。
3. 連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程20)
戸当たり(M)を調整してください。(工程18)

お客様へ
組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(2215DP型)
ヨドコ
淀川製鋼
(2020年A制作)